

**製品名: DDIT3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM85032**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 19 kDa; Observed MW: 27 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DDIT3
別名	DDIT3; CHOP; CHOP10; GADD153; DNA damage-inducible transcript 3 protein; DDIT-3; C/EBP-homologous protein; CHOP; C/EBP-homologous protein 10; CHOP-10; Growth arrest and DNA damage-inducible protein GADD153
遺伝子 ID	1649.0
SwissProt ID	P35638
免疫原	KLH に結合した合成ペプチド。

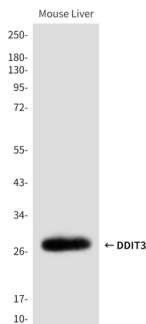
## 背景

DNA に結合できないヘテロダイマーを形成することにより、C/EBP および LAP の DNA 結合活性を阻害します。

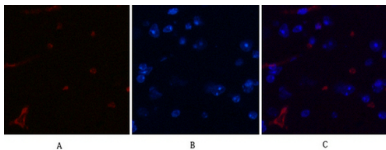
## 研究分野

アポトーシス、Wnt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

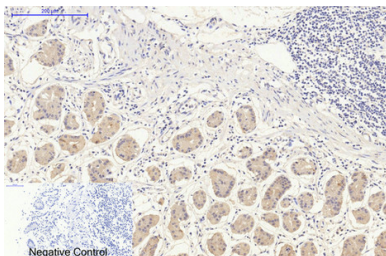
## 画像データ



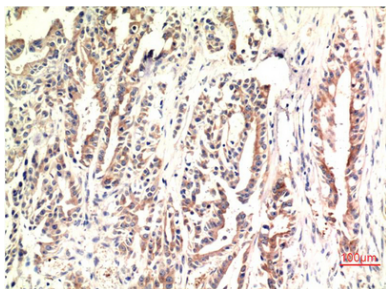
DDIT3 抗体を使用したマウス肝臓溶解物中の DDIT3 のウエスタンブロット分析。



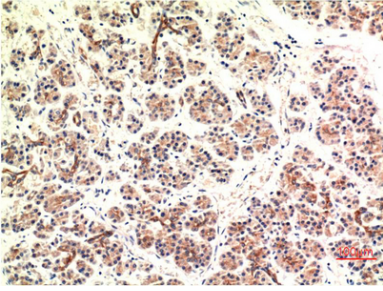
DDIT3 抗体 (赤) と DAPI (青) を使用したマウス脳組織中の DDIT3 の免疫蛍光分析。



DDIT3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CHOP 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



CHOP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト膵臓癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。